

看護実践学

【概要】

薬剤師と看護師は他の専門職と共に、患者の健康予防・回復・促進のためにチーム医療を提供する。コロナ禍においては、医療・福祉の連携の課題はより一層浮き彫りにされ、多職種連携の重要性については、これまで以上に強調されている。その中で、薬物療法は患者にとって治療プロセスの中で大きな配分を占め、病院だけでなく、地域においても薬剤師と看護師との協働は非常に重要である。協働するためには、お互いの役割を知り、共通の理解が不可欠である。本科目においては、チーム医療について学習し、その中での看護師と薬剤師の役割を学習する。本科目を担当する教員は、すべて高度実践看護師としての経験を積んだ教員であり、実際の臨床現場の現状を再現しながら、学びを深める。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による